

実践事例③（C校）

C校の10月の実践から、複数の文章を読み比べた際に、それぞれの文章をじっくりと読む時間を設定していなかったために、生徒は筆者の主張の違いを読み取ることができないという課題を見出しました（カ、ケ、サ）。そこで、次の実践として、知的構成型ジグソー法を取り入れ、分担を決めて1つの文章を各自がじっくりと読む時間を設定しました（A⑥、B⑤）。さらに、それぞれの内容をグループ内で共有することで、複数の文章を読み取るという手立てを取りました（B⑤⑦⑧、C⑥）。

単元名 2つの文章を読み比べ、多面的にものごとを考えよう

教材名 「黄金の扇風機」 田中真知（東京書籍3年）
「サハラ砂漠の茶会」 千住博（東京書籍3年）

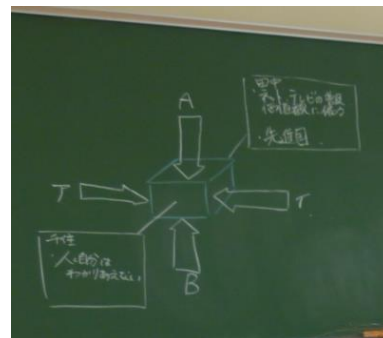
指導計画（全5時間）

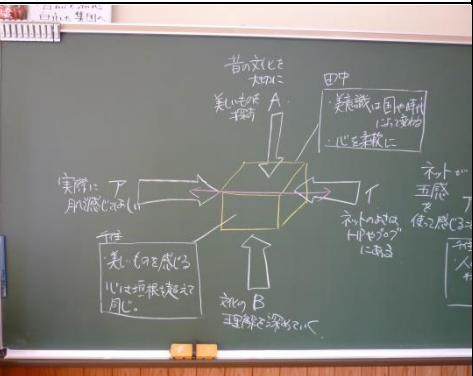
次	時間	学 習 活 動	手立て
一	1	・「多面的」に考えるとはどういうことかを知る。 ・学習課題、学習計画を知る。 ・「お歯黒」の写真を見て、「美しさ」の捉え方のイメージを持つ。	
	2	・教材「黄金の扇風機」を読む。 ・教材「サハラ砂漠の茶会」を読む。 ・2つの教材を読んで考えた「現代社会で本当に美しいものを見付ける方法」を書く。 ・次時に担当する文章を決めて、読む。	
二	3 本時	・4つの文章について、ジグソー法を用いて自分の考えを深める。	A⑥ B ⑤⑦⑧ C⑥
三	4	・もう一度「現代社会で本当に美しいものを見付ける方法」を考えるために、旅行添乗員になりきり、「海外で美しいものを見付けるための極意」を書く。	
	5	・友達が書いた文章を読み、コメントを書く。 ・単元全体を振り返り、この単元で身に付けた力について整理する。	

本時の目標

- ・ 現代社会における異文化の受容について、筆者の主張を読み取る。
- ・ 友達の考えを聞くことで、自分のこれまでの姿勢や視点を振り返る。

	主な学習活動	教師の働き掛け (○)、授業の質的改善のための手立て (□)
導入	1 前時の学習を振り返る。 〈学級全体〉	○本単元のテーマは「異文化理解」であることを確認し、今後多様な価値観や国籍の人と関わる上で必要な学習であることを知らせた。
	2 本時のめあてと展開を確認し、学習の見通しを立てる。 〈学級全体〉	○「多面的」に考えるために立方体を板書し、前時の「現代社会の問題点」と「筆者の主張」の2点について、田中氏と千住氏の文章の要点を整理した。
	本時のめあて 続編を読んで、「異文化理解」を多面的に考えよう。	
		○前時に決めておいた担当する文章を準備させ、本時では、同じ文章を担当する人で集まって読み合うことを「エキスパート活動」と呼ぶことを伝え、担当の文章別に分かれ、筆者の主張を読み取ることを伝えた。
展開	3 知的構成型ジグソー法で、筆者の主張を読み深める。 〈個〉	○担当の文章を一人で読み、ワーク⑦に「現代社会の問題点」と「取るべき行動」について、自分が読み取ったことを書かせた。 [A⑥]
	〈エキスパートグループ〉	○読みが進まない生徒には「ヒントカード」を配り、「ヒントカード」の空欄に読み取った内容を書かせた。
開		○「エキスパート活動」に入る前に、①担当文章ごとの座席の確認、②話合いを進める際の手順を書いた「話合いの進め方」を配り、全員が一度は発言することを確認し、③読み取ってほしいことを書いた「エキスパート課題」を配付した。 ○「エキスパート活動」では、まず一人一人の読みを発表し合うことを伝えた。グループのメンバーで、異なる読みが出てきた場合には、本文をよく読み、「エキスパート課題」を解くようにアドバイスをした。



	〈グループ〉	○「取るべき行動」に大きな読み違いがある場合には「エキスパート課題」の中の課題を読み返し、答えを導くよう助言した。 ○元の 4 人グループに戻り、「エキスパート活動」でまとめた読みを発表し合い、代表者だけが記録用紙（A 3「現代社会の問題点」「取るべき行動」の 2 枚）を書くよう指示した。他の 3 人は、互いの発表から、主張の共通点や相違点に気付くよう、書く時間を設けなかった。各グループの記録は次時に資料としてまとめ、全員に配付した。 [B⑤⑦⑧]
ま と め	4 本時の振り返りと次時の学習内容を確認する。 〈学級全体〉 千住氏は「イ」の文章では「ネットを使えば誰でも世界の中心になれる」と述べていますが「ア」ではどのような主張ですか？  筆者は同じでも、違うことを言っています。 「ア」では、「ネットだけで満足せず、五感で美しさを感じ取ってほしい」と述べています。	○記録用紙に書いたことを、1 班から順に発表させた。各グループの発表内容は、導入で書いた立方体の矢印の横に記入し、視覚的に整理した。 [C⑥]  黒板に整理した内容 「現代社会の問題点」について (A) 西洋の価値観によって、日本独自の文化が失われた。 (B) 民族の誇りである習慣が、他国の興味本位の関心を引き、本来の価値が失われている。 (ア) ネットが普及した現代は、五感を使わずに、視覚と聴覚だけで、美しいと感じてしまう。 (イ) ネットの普及で、美しいものが世界中から発信され、だれでも注目される可能性がある。 「取るべき行動」について (A) 現在の日本の美しさの価値観は西洋に影響を受けたものであるから、冷静に判断していくべきだ。 (B) 多民族の習慣や伝統を理解し、尊重し合うべきだ。 (ア) ネットが発達した現代でも、実物を見て、触れて感じる事が本当の美しさの理解には必要だ。 (イ) よいものや美しいものは世界中から共感を得やすくなっているが、興味を持った人は実際に自分の目で見て確かめるべきだ。

	○同じような主張や相対する読みを、色チョークで矢印や等号を書いて整理し、多面的なものの見方を確認した。 ○次時は、教科書掲載の 2 つの文章と、本時の 4 つの文章を加えた 6 つの視点を踏まえて、「美しいものを見付ける方法」を 300 字で書くことを伝えた。
--	--

検証授業を振り返って

(成果○ 課題●)

- 知識構成型ジグソー法を用いたことで、生徒は 1 つの文章を読んで課題を解決し、それをグループ内で共有することにより、自らの考えを再構築することができていました。
- 複数の文章を読み比べる場合、講義形式では時間が掛かり過ぎて生徒の興味が薄れていくが、本授業では、生徒は自分が担当する文章を責任を持って読んでおり、また「エキスパート活動」では同じ課題に取り組む者同士、安心して学習する様子が見られました。
- ヒントカードに頼り過ぎて、自分自身の言葉で考えを整理できていない生徒が見られました。ヒントカードの内容については、工夫の余地があると考えられます（**キ**、**ケ**→**C⑤**）。